

(様式1)

大学名	九州大学	学問分野	情報・電気・電子
専攻等名	システム情報科学府 情報理学専攻・知能システム学専攻・ 情報工学専攻・電気電子システム工学専攻・電子デバイス工学専攻		
拠点のプログラム名称	システム情報科学での社会基盤システム形成		
拠点リーダー氏名	前田 三男	所属部局・職	システム情報科学研究院・教授
プログラムの概要	情報科学と電気電子工学が連携をとりつつ、人間性回復を目指す 21 世紀社会基盤システム再構築に新たな提言ができるような世界的研究拠点を形成する。		
拠点形成の目的・必要性	<p>21 世紀を迎えて急速に進展する情報化とグローバル化、環境・エネルギー問題の顕在化の中にあつて、社会基盤システム全般の再構築が求められている。20 世紀における効率化・高速化・大規模化のあくなき追求に代わつて、高度の安全性・信頼性・省資源・省エネルギー化、堅牢なセキュリティ、さらには人間性の回復といった新しい視点の導入が、21 世紀には求められている。</p> <p>そのような認識のもとで、新たに設立された「システム LSI 研究センター」と連携しつつ、情報科学と電気電子工学が複合した「システム情報科学」の領域で、21 世紀社会基盤システム再構築に新たな提言ができるような世界的研究拠点を形成することを目的とする。教育面ではデバイス開発から大規模システムの構築まで幅広い総合力を持った国際レベルの研究者・技術者の養成を行う。また、新キャンパスへの統合移転に向けて、教育研究環境の大幅な改善を目指すものである。</p>		
研究拠点形成実施計画	<p>1．システム情報科学分野での世界的研究拠点形成 新世代の個人・物品認証システムの開発を目指す「システム LSI プロジェクト」、人間性指向の情報処理システムの開発を目指す「情報・通信基盤技術プロジェクト」、超低消費電力化を目指す「電気電子システムプロジェクト」に分かれて、連携をとりつつ 21 世紀社会基盤システムの再構築を提言。</p> <p>2．COE にふさわしい研究環境の整備 新キャンパス移転に向けての研究環境の整備（競争的研究空間の創出、高度情報処理システムの構築）。定員外研究教育スタッフの積極的雇用（博士研究員、研究補助員、外国人研究者等）。アジア諸国を含めた国際交流の促進（国際会議主催、高名な外国人学者招聘、韓国大学間の高速度ネットワーク構築）</p> <p>3．地域等との産学連携促進 九州大学システム LSI 研究センター、福岡県が推進する Silicon Sea Belt 構想、福岡市が管轄する九州システム情報技術研究所等と連携して産学連携の振興。</p>		
教育実施計画	<p>1．大学院教育システムの全面的見直し 卒業時の大学院学生の品質保証の明確化、より厳密で客観性のある成績評価法を確立、カリキュラムの系統樹の作成、一部の科目を必修化、創造性を高めるための教育的配慮、学生間との緊密なネットワーク構築、レポート提出方式でのきめの細かな指導等を盛り込む。</p> <p>2．大学院学生の積極的海外派遣 大学院生が海外の国際会議等で発表する機会及び、短期間海外の研究室で研修する機会を与える。</p> <p>3．社会人ドクターのための海外サテライトオフィスの開設</p> <p>4．新キャンパスに向けての教育環境の大幅改善</p> <p>5．福岡システム LSI カレッジ等による産業人再教育</p> <p>6．九州システム情報技術研究所等との連携による大学院生の雇用と社会教育</p>		

# システム情報科学での社会基盤システム形成

目標：情報科学と電気電子工学が複合した分野での 21 世紀社会  
基盤システム再構築への提言  
安全性/安定性/信頼性/低コスト/低消費エネルギー / 人間性の回復

